

令和4年6月30日

緑小だより

横浜市立緑小学校 7・8月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

学び舎に!!

学校長 能城 順一

観測史上最も早い関東甲信越地方の梅雨明けが発表され、6月最終週は、熱中症が強く危惧されるような厳しい暑さの日々が続いています。私は、年齢も年齢なもので、体調を整えるのに一苦労しますが、毎朝、子どもたちを緑小学校入口の交差点で迎える時には、何故か、身が引き締まって1日がスタートするのです。毎朝、私が心からありがたく思うのは、登校時にいろいろな箇所子どもたちの見守りをしてくださるさぼーと隊の保護者の皆様です。横断旗を持って一緒に子どもたちを見守ってくださるさぼーと隊の皆様の姿を見るだけで、私の「安心感」は、何倍も増します。本当にありがとうございます。引き続き、よろしく願いいたします。そして、下校時には防犯ボランティア児童見守り隊の皆様に子どもたちを見守っていただいています。心より感謝申し上げます。これからは、暑さもさらに厳しくなります。十分に気をつけながらの見守りをお願いいたします。

今月15日(水)には、令和4年度のお話し会がスタートしました。ボランティアの皆様の読み聞かせに、耳を澄ませて聞き入っている子どもたちの姿を見ると、今年度は感染症の影響を受けて中止することなく、年度末までお話し会の皆様にお越しいただきたいと願うばかりです。お話し会の皆様による読み聞かせは、子どもたちの心を落ち着かせ、学びを豊かにしてくれます。そして、この日にはさぼーと隊の皆様が、図書館整備にもお力を注いでくださいました。下の写真のように6月の梅雨時という気持ちは晴れない時期ではあるけれども、それを忘れさせてくれるような素晴らしい壁飾りを制作していただきました。初めて見た時には、感動しました。そして今では、図書館の前を通るたびに心が和みます。そして、心からありがたく思うのです。

少し古い言葉ですが、私は子どもたちの通う学校を、子どもたちが安心して友達と学び合う「学び舎」にしていきたいと心から願っています。しかし、教職員の力だけでは、到底「学び舎」にはなっていないのです。PTAを代表とする保護者の皆様、ぼらんていあ倶楽部の皆様、地域の皆様のお力添えがあってこそ「学び舎」となるのです。令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、保護者の皆様、ボランティアの皆様、地域の皆様にご来校いただける多くの機会を奪っていきました。その間の2年間、学校は悪戦苦闘していたように思います。多くの制限が緩和されるであろう令和4年度、緑小学校が「ありがとうにあふれた学び舎」と育っていくよう、多くの皆様に支えていただければと心から思っております。

さて、7月21日からは、子どもたちにとって何よりも楽しい夏休みを迎えます。ウィズ・コロナで、制限も緩和され、ご家族で、お出かけになることも多いと思います。十分にお気をつけください。8月26日、「学び舎」である緑小学校で、元気な姿での子どもたちと再会できることを、心待ちにしております。

